

教員採用試験

公立学校

公立学校における教員採用試験は、正式には「教員採用候補者選考試験（検査）」といい、さまざまな試験を実施して、教員の候補者として適した人材を選抜する試験です。多くの課題を抱える近年の学校教育においては優れた教師の確保が重要となっており、最近の教員採用試験では人物を重視する傾向にあります。

教員採用数と競争率

現在の教員採用試験は、長期的な採用増加期に入っており、これに伴い、競争率も低下しています。

しかし、採用状況は地域差が大きく、必ずしも採用者数が増えているわけではありません。採用者数が多く、競争率が低いのは、おおむね東京都、大阪府、愛知県を中心とした3大都市圏であり、地方では採用の厳しい環境が続いています。

こうした地域間格差に加え、校種間でも競争率には大きな差が生じています。小学校は採用者数が急増し、中学校も現在の競争率は全国平均で10倍以下に緩和されています。これに対し高等学校は教科にもよりますが依然として13倍程度の厳しい競争が続いています。

いずれにせよ、採用試験を突破するには、計画的な準備と情報収集、そして効率的な試験対策が必要です。

教員採用試験の内容

教員採用試験は基本的に1次試験と2次試験で構成されています（一部の県は1次・2次の区別なし）。筆記試験中心の1次試験で受験生を最終合格者の1.5倍～3倍にまで絞り込み、1次試験に合格した人だけが、面接や論作文、実技中心の2次試験に進むことができます。

1次試験は毎年、7月に行われています。北海道、東北、関東甲信越、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州のブロックごとに同じ日に実施されるのが特徴です。もちろん、日程が重複しなければ、いくつかの都道府県を併願することもできます。

2次試験は8月上旬～9月末にかけて行われます。試験の内容は、主に面接試験や論作文試験、実技試験が行われますが、都道府県（市）によっては教養試験や専門試験を実施する場合もあります。試験の結果は9月中旬～10月中に発表され、合格（最終合格）すると「教員候補者名簿」に登載されます。

採用試験では、次のような内容が1次試験と2次試験に振り分けられて実施されています。ただし、都道府県ごとに形式や傾向は異なるので注意してください。

試験名	試験内容
筆記試験	教養試験と専門試験が行われます。教養試験は、教職に関する知識を問う教職教養と、一般的な知識を問う一般教養からなります。また専門試験は、志望する校種・教科に関する内容について出題されます。
論作文試験	教育論や実践的な指導方法のテーマを課し、受験者の人物像や教師としての考え方・資質を評価します。
面接試験	個人面接・集団面接・集団討論・模擬授業・場面指導など、さまざまな形態で行われます。最近では教員としての資質能力を兼ね備えているかを重視する傾向にあり、面接試験のウェイトが大きくなっています。そのため、2～3回面接を行ったり、模擬授業や場面指導を取り入れたりして、受験者の人物像や教師としての資質能力を多角的に評価します。
実技試験	小学校の音楽や体育、中学校・高校の英語・音楽・家庭・保健体育・工業・商業などの教科・科目で行われます。その教科・科目に関わる基本的な技術・技能を有しているかを判断します。
適性試験	教員の資質として要求される諸々の特性について、客観的に調べるために実施されます。主に、クレペリン検査・Y-G性格検査・MMP I（ミネソタ多面人格目録）などが用いられます。

試験の合格と採用

教員採用試験は、試験結果の上位者から順に「教員候補者名簿」に登載され、教員需給を調整した上で候補者名簿の中から採用内定が出されます。したがって、最終合格者数が教員需要数を上回った場合は採用されないこととなります。ただし、候補者名簿は1年間有効ですので、採用されなかった場合でも、その期間内に教員の欠員が生じたときには採用されることがあります。しかし、採用がなかった場合は、次年度の試験を再受験しなければなりません。最近では、その年度の採用試験において候補者名簿に登載されながら採用されなかった者に対して、次年度の1次試験を免除するといった特別な措置をとる都道府県（市）が増えてきています。

なお採用内定者については、市町村教育委員会や学校長による面談を行った後、本採用・赴任校が決定します。

私立学校（園）

私立学校（園）における教員採用試験は、校種や自治体によって異なりますので、希望する学校（園）の求人があるのか、求人があるのならどんな選考試験を行うのか、ホームページ等から情報を収集しなければなりません。また教師教育リサーチセンターに届いた求人票から、情報収集するのも良いでしょう。いずれにしても、公立学校のように定期的に採用があるのではなく、欠員が出た場合の補充採用となりますので、積極的に行動することが必要です。

* 私学適性検査の受検が必須の場合、学校（園）が独自で行う採用試験とは別に、私学適性検査を受検しなければなりません。

本学の教員採用試験対策

実施月	講 座	1年	2年	3年	4年	受講料
4月	教員採用模擬試験		●	●	●	★有料
	保育士就職模擬試験		●	●	●	★有料
	私立教育就職ガイダンス(小・中・高)				●	無料
4～5月	教員採用模擬試験(主に地方向け)		●	●	●	★有料
	公立学校教員採用選考 学内説明会(東京)	●	●	●	●	無料
	公立学校教員採用選考 学内説明会(千葉)	●	●	●	●	無料
	公立学校教員採用選考 学内説明会(神奈川)	●	●	●	●	無料
	公立学校教員採用選考 学内説明会(横浜)	●	●	●	●	無料
	公立学校教員採用選考 学内説明会(川崎)	●	●	●	●	無料
6月	教職課程基礎講座	●				無料
	教員採用試験対策講座Ⅰ	●	●	●		無料
	保育士採用試験対策講座Ⅰ	●	●	●		無料
7月	幼稚園教諭・保育士・福祉職直前就職ガイダンス				●	無料
	教員採用試験対策講座Ⅵ(一次試験面接対策)				●	無料
	教員採用試験対策講座Ⅱ(履歴書・論作文①)	●	●	●		★有料
	保育士採用試験対策講座Ⅱ(履歴書・論作文①)	●	●	●		★有料
	保育士試験直前対策ガイダンス				●	無料
7～8月	教員採用試験対策講座Ⅶ(二次試験直前)				●	無料
	保育士採用試験対策講座Ⅶ(二次試験直前)				●	無料
	教養科目・夏期集中講座	○	●	●	●	★有料
10月	専門科目・夏期集中講座(小学校・中高科目限定)	○	●	●	●	★有料
	教員採用試験対策講座Ⅸ(登載者対象)				●	無料
	保育士採用試験対策講座Ⅸ(登載者対象)				●	無料
	教員・保育士就職ガイダンス			●		無料
10～11月	公立学校教員採用選考(秋季)学内説明会(東京)	●	●	●	●	無料
	教員採用模擬試験(トライアル模擬試験)	●	●	○		★有料
12月	教員採用模擬試験(プレイバック模擬試験)	○	●	●	●	★有料
	公立学校教員採用選考(秋季)学内説明会(川崎市)	●	●	●	●	無料
	公立学校教員採用選考(秋季)学内説明会(さいたま市)	●	●	●	●	無料
	教員採用模擬試験・対策ガイダンス(学年別)	●	●	●		無料
	教員採用試験対策講座Ⅱ(面接・エントリーシート・論作文②)	●	●	●		★有料
	保育士採用試験対策講座Ⅲ(面接・エントリーシート・論作文②)	●	●	●		★有料
2月	幼稚園ガイダンス(1・2年生向け)	●	●			無料
	保育士ガイダンス(1・2年生向け)	●	●			無料
	公立幼稚園・公立保育士対策ガイダンス		●	●		無料
	教員採用試験対策講座Ⅳ(集中)	●	●	●		★有料
	保育士採用試験対策講座Ⅳ(集中)	●	●	●		★有料
3月	教員希望者直前就職ガイダンス(希望地調査)			●		無料
	保育士希望者直前就職ガイダンス(希望地調査)			●		無料
	教員採用試験対策講座Ⅴ(論作文③)	●	●	●		★有料
	保育士採用試験対策講座Ⅴ(論作文③)	●	●	●		★有料
通年	教職研究室での個別相談	●	●	●	●	無料
	キャリアカウンセリング(個別相談)	●	●	●	●	無料
	玉塾(自主勉強会)	●	●	●	●	無料

*受講料の金額は掲示ならびにUNITAMAで確認してください。
上記以外にも必要に応じて講座等を開講します。